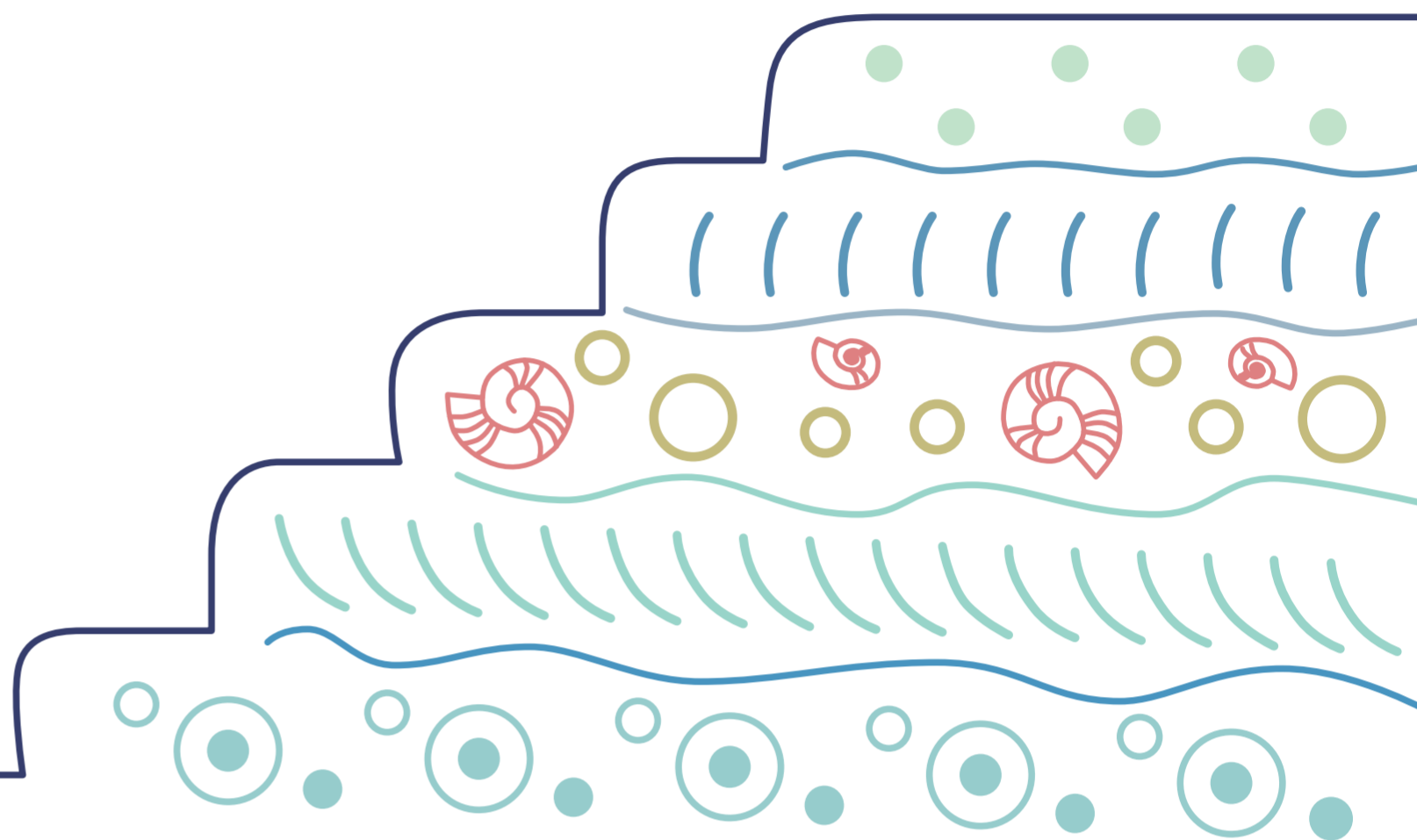


5月10日は 地質の日

5月10日を中心に
全国で地球がわかるイベントを開催



地質の日の由来

5月10日は、明治9(1876)年、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日です。また、明治11(1878)年のこの日は、地質の調査を扱う組織(内務省地理局地質課)が定められた日でもあります。

地質の日事業推進委員会は全国で行われる地質の日の行事をバックアップしています。

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(独)産総研地質調査総合センター、日本堆積学会、日本第四紀学会、日本鉱物科学会、日本科学未来館、(地独)道総研地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構、(公社)東京地学協会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、(NPO)日本ジオパークネットワーク
(順不同：2013年12月現在)

各地域のイベント情報はこちらから 
<http://www.gsj.jp/geologyday/>

[地質の日事業推進委員会事務局]
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター
TEL. 029-861-3687 FAX. 029-861-3672